

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年5月 6日(金)発行 第 6 号 発行責任者:高橋 弘悦

合唱コンクールに向けスタート!

NHK全国学校音楽コンクールへ向け、練習を開始しました。小規模校であるが故、過去十数年にわたり、当大会への参加を見送ってきた大会でした。「県内のどこの中学生でも取り組んでいる大会に本校のみが不参加なのはいかなものか…」との思いから、一昨年は「参観者」として参加。昨年はコンクール対象外でしたが、念願のステージに立つこともできました。今年、昨年度のステージで



の発表を踏まえて「コンクールにも出れるのでは…?」との感触を得ることができ、生徒、職員が一丸となってスタートを切ることができました。

周知の通り本校は全校生12名(うち男子は1名)。一抹の不安はありますが、「小規模校だけれども」参加し、「小規模校だからこそ」できる合唱に挑戦します。毎年参加する他校では中体連の各種大会終了後に練習を開始しますが、ご存じのとおり、少人数でありながら、あらゆる事に取り組む本校では、よりよい合唱に仕上げるため、すき間時間を利用して、取り組みを早めて練習します。

音楽の時間はもちろん、昼休みを中心に行っています。音楽科の先生に加え、4月に着任した雨宮先生が大学時代に合唱部に所属し、全国大会で金賞を連続して受賞していますので、心強い指導者になっています。他の先生方も生徒と一緒に練習に取り組んでおり、西山中ならではの光景です。課題曲名は「結〜ゆい〜」です。大規模校にも劣らない西山中の「結〜ゆい〜」を全員で創り上げたいと思います。



暴風の中…

全会津春季陸上競技大会

4月29日、あいづ陸上競技場で、全会津春季陸上競技大会が開催されました。

テントが飛ばされそうになるような暴風雨の中の大会でしたが、全校生が全力を尽くし、まさに12人が一丸となって挑みました。

10日には同じ会場で、両沼中体連陸上競技大会が開催されます。ここでの経験がきっと活かされるものと思います。



春季陸上大会 西山中学校 結果一覧

平成28年4月29日(金)
あいづ陸上競技場
天候:ひたすら風雨

トラック種目

種目	氏名	順位	記録
中2男 100m 40名	金子 天斗	32	14秒23
	原 雅	22	32秒67
中女 200m 32名	菊地 真生	23	32秒79
	井関 千聡	27	34秒99
	渡部 涼花	28	35秒50
	鈴木 未夢	29	37秒79
中女 800m 48名	原 雅	27	2分56秒49
	渡部 涼花	36	3分08秒62
	井関 千聡	37	3分08秒92
中1女 1500m 23名	菊地 真生	43	3分15秒50
	渡部 未蘭	12	6分21秒49
	金子 花	15	6分45秒47
中23男 1500m 55名	渡部 美空	16	6分55秒81
	渡部 寿々帆	20	7分08秒85
中1女 4 × 100mR 9校	金子 天斗	44	5分40秒58
	金子 花		
	渡部 美空	6	1分03秒97
	渡部 寿々帆		
	渡部 未蘭		

フィールド種目

種目	氏名	順位	記録		
			1回目	2回目	3回目
中女 走幅跳 18名	金子 千聖	15	3m54cm	3m49cm	×
	飯塚 亜海	16	×	2m55cm	×
	金子 千聖	11	5m20cm	5m62cm	5m55cm
中女 砲丸投 14名	鈴木 未夢	13	4m91cm	5m11cm	5m34cm
	飯塚 亜海	14	3m22cm	2m99cm	2m59cm

一步上の目標へ

平成28年5月2日集会講話より

この連休は、陸上、バドミントンと大変忙しい日々を過ごしました。大会の様子を見させてもらいましたが、実は私の予想はもっと低いところにありました。どちらの大会も残念ながら上位入賞者はいませんでしたが、それでもあと一步の人や、予想を覆す健闘をする人がいて、校長として大変うれしく思いました。

満足のいく大会で会ったことを前提に、今日は、特に3年生にとって最後の大会が近づいている事を踏まえて、少し厳しめの話をします。

先ほど、あと一步の人が多かった…という話をしましたが、勝ちきれない原因を、皆さんはどのように分析しますか？試合を見ていると、大差で勝っていても、最後の詰めが甘く、逆転される展開が多かったように思います。「勝てそうだ」と思った瞬間、身体が硬くなってしまいうかがえませんでした。いろいろな原因があるでしょうが、それは普段の練習に、あと一步自信が持てないからなのではないか…という印象を持ちました。

以前、西山中学校の生徒は、自分の力を過小評価している…という話をしたことがあると思うのですが、覚えていますか？

実は、皆さんの力は、皆さん自身が考えているより、ずっと上にあります。自分のレベルを自分で決めてしまうと、そのレベルにあった練習をしてしまいがちにあります。そのレベル内での練習ですから、そのレベルを超える力は出せません。

これから中体連の本番を迎え、練習をしていて、「あ～もうだめだ。これが精一杯だ」と思ったとき、「ここでやめよう」ではなく「あとちょっとやったらやめよう」と考えてみてはどうでしょう？このように考えることで、自分が考える限界を超える練習が可能になります。自分が持っている力に近づくことができます。その練習を繰り返していると、試合本番の時、「あれだけの練習を積んできたんだ」という自分への自信につながって、最後の最後に自分が思いもしなかった力を発揮することにつながるのではないかと思います。

